

第 793 回 例 会

31年1月25日

本日のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 佐田 幸夫 会員
「家具 ✕ ロボティクス PART 2」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「カーテールーム」

次回(2月1日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 西岡 哲也 会員 「自己紹介」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「カーテールーム」
- ・第3回委員長会議 13:40～ 4階「桃山の間」

2月の例会予定

- ◎1日 卓話 西岡会員
- ◎8日 卓話 橋本会員
- ◎15日 夜例会
- ◎22日 卓話 和氣会員

先週(1月18日)の例会報告

■会長の時間

【スリランカ訪問】

1月11日の年頭挨拶会に出席できませんでしたので、改めてあけましておめでとうございます、を申し上げます。1月11日はスリランカに旅行しており申し訳ありません。旅行が1月となりましたいささつを少しだけ申し上げますと、本来は昨年の9月に予定をしていましたが、大型台風の影響で直前に関空が閉鎖となって予定の航空便が飛ばなくなり、現地ホテルなどのキャンセルが間に合わなくなりました。その後現地のホテルなどとの交渉の結果、同規模で再度催行することによってキャンセル料なしとしてもらうこととなり、1月に行くこととなった次第です。

さてスリランカへは、初めて訪問致しましたので、ガイドさんの説明などをもとにスリランカの紹介をさせていただきます。スリランカの国は、インドの南端の東沖に所在する周りを海で囲まれ面積65610km²、台湾の1.8倍、北海道の約8割でアボガドの形をした島国です。人口は2200万人、その内200万人がコロンボにすんでいます。今回、スリランカへは中国東方航空にて上海で乗り継いで行きました。コロンボ空港とコロンボ市内とは30km程離れており、我々はニゴンボにて宿泊。スリランカでは、クリケットが盛んでテレビでも街を走っていてもクリケットをよく見かけます。言葉は、シンハラ語、タミール語と英語が使用されており、店の看板でも、3つの言葉が並記されたものが多い。

スリランカには8つの世界遺産があります。そのうち5つは、内陸部の文化三角地帯と呼ばれる地域にあり、今回、我々はそのうちの3つの世界遺産を見てきました。最初は、「ダンブツラ石窟寺院」。紀元前1世紀に、5窟からなる天然の洞窟を利用して築かれた寺院です。一枚岩からなる仏像や色鮮やかな仏画が残っていました。次は「シギリヤロック」。ここは、約1500年前に地上約370mの岩山の頂上に築かれた宮殿の跡が残っており、岩山の中途の壁面にはシギリヤレディと呼ばれるフレスコ画なども残っている。370mのほぼ直立の岩山を登って下を見下ろすと、よくぞこのようところに宮殿を建てたものだと感心させられました。最後に「キャンディ」は、シンハラ王朝最後の都で仏陀の犬歯が納められた仏歯寺が街のシンボルとなっていることで有名です。

ところでスリランカといえば、国際ロータリーの2015-2016年会長であるK. R. ラビンドラン氏の出身国です。また、日本との関係では、終戦後のサンフランシスコ講和会議において、スリランカの第2代大統領(当時、蔵相)シャワフルダナ氏が、「憎悪は憎悪によってやむことはなく、愛によって止む」という演説をし、日本の4分割案に反対するとともに対日賠償請求を放棄したことで知られています。その他、紅茶のこと等、ご紹介したいことがまだまだたくさんありますが、また次回にさせていただきます。

【来客紹介】 5名

【出席報告】

31年1月18日(第792回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
36名	0名	22名	14名	61.11%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕 1)卓話資料

〔回覧資料〕

- 1)大阪西南RC50周年記念事業「西南ビジネスマインドフォーラム」チラシ
- 2)大阪フレンドRC20周年記念講演「これからのがん医療と大阪国際がんセンターの挑戦」チラシ
- 3)血液センターニュース(2019冬)

秋山 千尋 = 日本に於ける職業奉仕の勉強会、ありがとうございます。

福島 三雄 = 皆さん、今年もよろしく願い致します。 地区職業奉仕副委員長 山崎修一様および澤田宗久様、今日は職業奉仕についてのお話楽しみにしています。 よろしく願い致します。

森本 良嗣 = 地区職業奉仕委員会 山崎様、澤田様、今日は簡単な様で難しい事ですが、宜しくご教授下さい。 勉強させて頂きます。

大屋 準一 = 新年より20日余りですが、早いものですね。 にこにこを書く時に漢字がわからずに携帯で探す人がおられました(まだ若いのに?) 日常使用しなくなると忘れるものですかね。 身体も鍛えて頭のポケ防止に頑張ります。

斎藤 清貴 = 1月は職業奉仕月間です。 本日は地区職業奉仕委員会から山崎副委員長、澤田次年度副委員長にお越し頂き、卓話をいただきます。 山崎様、澤田様、宜しくお願いします。

笹倉 光雄 = 新年明けましておめでとうございます。 今年も欠席しない様にがんばります。

高野 幸雄 = ゲストスピーカー山崎様、職業奉仕、勉強させて頂きます。 よろしく願い申し上げます。

辻田 知史 = 新年明けてお客様への挨拶も終わってホッとしています。 月末まではまだ新年会が残っています。 飲み過ぎ、食べ過ぎに要注意の時期です。 からだに気をつけましょう。 ゲストスピーカー山崎様、卓話楽しみにしています。

吉田 正信 = 寒い! 身も心も。 本年もよろしく願いします。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 9000円

今年度合計 4506895円

卓話

「日本の職業奉仕について」 2660地区職業奉仕副委員長 山崎 修一 氏

「日本の職業奉仕について」という題をいただきました。「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「四つのテスト」など、「ロータリーの樹」の根の部分が、日本の昔からある「人づくり」の基本的な考え方、特に「甲斐(かい)」「情(なさけ)」「志(こころざし)の三つとどのように結びつくのか、考えてみたいと思います。まず「甲斐」です。「やりがい」「生きがい」「働きたい」「頑張った甲斐があった」「不甲斐ない」などと日本語で使われますが、これが職業奉仕と結びつきます。健康、家庭、職場などを大事にしなが、目標や理想など目指すところに向かって継続努力するところに「甲斐」があります。しかし、最も大事な点は、単に自分が目標を実現するだけでなく、周りの人たちがそのことによって認めてくれる、喜んでくれることでしょう。ここに「超我の奉仕」の基本があります。さらにその点を掘り下げると「情」に繋がります。まず、相手の立場に立って考えること、相手の気持ちがわかることがスタートです。そして、その相手の立場から自分を厳しく眺めることが要求されます。この厳しく眺める基準が「四つのテスト」です。一方で「情けは人の為ならず」ということわざは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と本質は同じところにあります。

では、三つ目の「志」について考えてみましょう。ここには5つの視点があります。

第一に、組織は一人ひとりにとっての成長の舞台、自分の力を最大限に発揮する舞台だ、という捉え方です。ロータリーという組織も、明らかに成長の舞台、人づくりの場です。

第二に、そこでいう成長とは、変化の一つ、「変化こそ生命(いのち)」だという点です。皆さんの目の前のグラスを思い切り床にバンとたたきつけると、粉々に割れます。形が変化しました。しかし、グラスには生命はない、では生命って何だろう、それは、自分の意思で変化するという事ではないでしょうか。グラスは残念ながら他の力でしか変化できない、だから生命を宿していないのです。一方で、草花は、自ら水分や養分を吸い取り、光合成をして変化していきます。だから生命です。

第三は、その変化や成長の方向です。日本国憲法第22条には職業選択の自由が謳われています。私も税理士という職業を選択しました。ところが30歳で独立したときに、いくらその仕事をしたくても仕事ができませんでした。全く申告書が書けなかったのです。申告書を書いてくださいというお客様がいなかった、ゼロからのスタートだったからです。人が仕事を選ぶのは当然のこととして、実は仕事人が人を選ぶのだということを心の底から悟りました。言い換えると、常に仕事から選ばれる存在になるように変化、成長していかなければならない、「変化こそ生命」の方向は、「人が仕事を選び、仕事人が人を選ぶ」というところにつながっていくと思うのです。そうすると第四に、仕事から選ばれる存在になるにはどうすればいいかということがポイントになってきます。これこそ正解はないように感じます。しかし、ただ1つだけ言えることは、これからの時代は他の人と同じことをしていたのでは、「あなたにお願いします」と言われて選んでいただけないだろうということです。「自分らしさ」が大事なのです。

そして第五に、こういう「自分らしさ」を鍛え上げていくには、時間的な自己投資をすべきだという点です。「毎日1時間、1カ月で30時間、そんな大きな差じゃない。だけど、1年がたつとやっている人とそうでない人とで360時間の差になってくる。そうすると1日10時間ずつ追いつこうと思っても36日かかる差になる。それが5年、10年したら圧倒的な差になってもう取り返しはつかないだろう。日々の積み重ね、1時間1時間の自己投資の積み重ねがものを言うよ。」と、ある人に教えてもらいました。

例会は毎日ではなく、毎週ですが、その1時間の例会の積み重ねが人づくりの原点なのです。

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか